

和歌山県公共工事入札監視委員会第52回定例会議 議事概要

開催日及び場所	平成26年8月27日(水) 13:30~15:30 和歌山県自治会館 304会議室	
出席委員氏名	田中昭彦(委員長) 山西陽裕(副委員長) 木下正美 津村雅枝 堀田祐三子 水城実	
審議対象期間	平成26年4月1日 ~ 平成26年6月30日	
抽出案件	総件数 2件	議事 ○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の設定の経緯等審議 ○意見交換会
一般競争入札	1件	
条件付き 一般競争入札	2件	
通常指名競争入札	1件	
随意契約	1件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による建議 の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○国道311号（和田谷1号橋）交付金道路保全工事</p> <p>1. A委員 平成3年の施工時の耐震基準と阪神淡路大震災後の耐震基準が変わったので、補強工事の必要が出てきたということだが、どのように変わったのか。</p> <p>2. A委員 東日本大震災後、基準は変わっていないのか。</p> <p>3. A委員 国道311号で耐震補強工事が必要なのはこの橋だけか。他に何か所かあるのか。</p> <p>4. A委員 この橋の近くに同じような工事的必要性のある橋があれば、まとめて発注した方がいいと思うが、近くにはないのか。</p> <p>5. B委員 落札率が100%の理由は、人件費と鋼材の高騰ということだが、他の鋼構造物工事は90～93%の落札率であり、工事が違うので単純な比較は出来ないと思うが、人件費と鋼材の高騰の他に理由はないのか。</p>	<p>（発注機関：西牟婁振興局建設部）</p> <p>1. 平成8年の阪神淡路大震災後、マグニチュード9の巨大地震についての設計基準が出来たので、新たな基準で見直した。</p> <p>2. 変わっていない。</p> <p>3. 西牟婁振興局管内でいえば、緊急輸送路で支間長15m以上の橋は全部で121橋ある。平成16年から工事に着手して78橋完了している。全体的には平成30年度くらいを目標に工事を完成させたいと思っている。</p> <p>4. 周辺に同種工事がなく、単独の発注となった。</p> <p>5. 今回の橋梁の耐震工事では、鋼材の占める割合が大きく、鋼材はほとんどオーダーメイドであるため、入札額が高くなったと思われる。</p>

<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○和歌山北高校西校舎複合施設電気設備工事</p> <p>1. A委員 企業の施工実績要件で、国や地方公共団体以外に施工実績認定基準に定める法人による発注とあるが、具体的にはどのような法人か。</p> <p>2. A委員 総合評価方式の評価項目の地域貢献とはどんなことか。</p> <p>3. A委員 地域貢献については、客観的に要件に当てはまれば1点ということか。</p> <p>4. C委員 地域貢献とか加算点に差があるのはどういう内容なのか聞いたかったんですが、よく分かりました。 客観的な数字で、主観が入る余地がないということですね。</p>	<p>(発注機関：公共建築課)</p> <p>1. 法人税法で規定されている公共法人やNEXCO等のその他の法人です。</p> <p>2. 評価項目には配置予定技術者の能力と地域貢献の2項目あり、そのうち配置予定技術者の能力についての評価内容は3点ある。①過去3年間の工事成績の平均値、②監理技術者の保有する資格、③継続教育(CPD)の取り組み状況の3つ。それぞれが1点で合計3点。また地域貢献については、①本店の有無、②大規模災害時の協定締結、③県産品、リサイクル製品の積極利用の3つ、それぞれ1点で合計3点としている。</p> <p>3. そうです。 配置予定技術者の能力についても、要件に当てはまれば加点され、全部客観的な判断となります。</p> <p>4. 主観が入る余地はないです。</p>
--	--

【意見交換会】

下記について意見交換を行った。

記

1. 公共工事動向について
2. 不調不落の状況について
3. 国土交通省直轄工事における社会保険等未加入対策について
4. 品確法と建設業法・入契法等の一体的改正について